病　院　だ よ り　　2021年2月号　第399号

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　相良 博典
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

センター新設のご挨拶　昭和大学　食道がんセンター　村上（むらかみ） 雅彦（まさひこ）

2020年12月1日付けで『食道がんセンター』が開設されました。

従来、手術可能な食道癌患者さんは診療科＝『食道外科』として対応してきましたが、手術症例数の飛躍的増加（年間100例以上、国内３位：2017年、４位：2018年）・多職種による周術期管理の特殊性から、診療科の枠を越えたセンター化が必須となり新設するにいたりました。当院では、1996 年より昭和式胸腔鏡・腹腔鏡併用食道癌根治術を導入・標準化し、1,300 例以上の手術数を経験できたこと、初代センター長として就任できましたことは、近隣医療関係者様のご紹介のお陰と感謝申し上げます。

当センターのロゴと同時に独自のホームページを鋭意作成中ですので、ご参照下さい。

上述の食道がんセンターロゴマーク

【--プロフィール--】

1981年３月	昭和大学医学部卒業
1996年４月	昭和大学医学部外科学講座 第二外科学部門　講師
2002年４月	昭和大学医学部外科学講座 第二外科学部門　助教授
2009年５月	昭和大学医学部外科学講座 消化器・一般外科学部門　教授・診療科長
2011年４月	昭和大学病院　副院長
2019年４月	昭和大学病院　食道外科　診療科長
2020年12月	昭和大学　食道がんセンター長

【--センター長としての意気込みや、今後の展望--】

私は、2021 年３月末をもって消化器・一般外科学部門教授を退任となります。４月以降、私に残されたセンター長の使命としては、消化器・一般外科学教室においてモットーとしてきました『常に寄り添える医療』を基盤に、食道外科医の育成と更なる手術症例の増加と認識しております。更には、国外にも広く開かれた国際センターを目指すことに尽きます。現在まで、国内・外問わず、数多くの食道外科医が昭和大学病院に見学に訪れ、そのノウハウを指導してきました。また、シンガポール・エジプト・中国・ベトナム等にも手術指導にいける食道外科医が数多く育っています。現状維持だけでは進歩の妨げとなることを肝に銘じ、食道外科の未来に向けた発展を目指す所存です。

ご挨拶

臨床研修医　２年次代表　木村（きむら） 翔大（しょうた）

昭和大学病院初期研修医２年目の木村と申します。
去年は未曾有の新型ウイルスの蔓延に見舞われ、来る今日も多くの先生方、コメディカルの方々が日々汗水流して奮闘されているのを見ると頭が下がります。
One for all, all for one.
１人はみんなのために、全ては１つの目的のために。
明るい未来のために、今私達ができることは何かを考え、医療人としての自覚を持って日々精進して参ります。

〈～出身地、経歴～〉

1992 年新潟県十日町市生まれ、東京育ち。
2013 年昭和大学医学部入学、2019 年卒業。
同年４月より昭和大学病院で初期研修。

〈～座右の銘～〉

「 臥 薪 嘗 胆 」

目的を達成するために困難を乗り越える。
今こそ、困難を乗り越えていきましょう！！

〈～あなたにとって医療人とは～〉

多くの人を幸せに、
笑顔にできる可能性を秘める人。

～初期臨床研修を振り返って～

正直、研修当初はわからないことだらけで仕事に慣れるのが精一杯でした。

たくさん失敗したり、たくさん注意されたりしました。そのときはへこみますが、時間が経つと自分はそれを指摘されてラッキーだったと思うようになりました。そして次の行動につなげようと日々心がけていきました。さらに不安があっても、やって後悔しようという精神で挑戦しました。将来関係ないものなどないだろうと思い、できるだけ多くのことを貪欲に吸収しようとしました。

どのくらい達成できたかは疑問ですが、その考えを想起させてくださったのは、お世話になった先生方、コメディカルの方であり、何より２年間切磋琢磨し一緒に頑張った同期の先生達でした。この２年間は自分にとって濃密であり、刺激的であり、成長の宝庫だったと思います。

そして、考えた末に小児外科の道に進むことを決心しました。

全ての関わった方々への感謝を忘れず、研修で得た知識の糧を、今後自分が関わる全ての患者さんの診療に還元できたらと考えております。

ご紹介　行事食のご紹介

12月から1月にかけて、クリスマスやお正月など様々な行事がございましたが、皆様はいかがお過ごしになられたでしょうか。昨今のご時世から、外食を控え、家庭内で食卓を囲む機会が増えた方も多いのではないかと思います。当院は施設基準による入院時食事療養(Ⅰ)の届出を行っており、食事は医師の指示により病状にあった献立とし、行事食を取り入れ温かい食事を提供しています。また、医師の指導の下に、管理栄養士、薬剤師、看護師などが栄養管理計画に基づき、患者さんの栄養管理を行っています。

今回は、クリスマスや年末年始で提供された当院の行事食を皆様にご紹介いたします。

〈クリスマス〉

〈年越しそば〉

〈正月〉

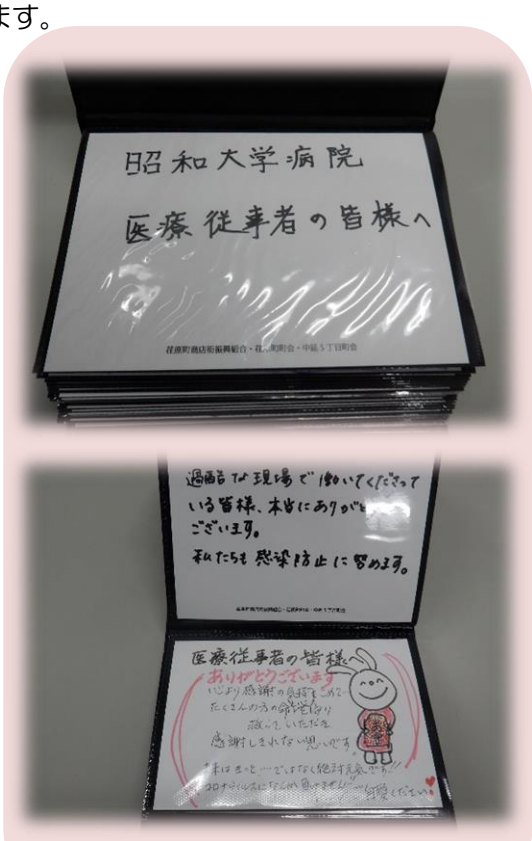
〈七草〉

今後も季節に合わせた行事食を提供してまいりますので、
その際にはお知らせいたします！

お知らせ　激励のメッセージへの御礼

この度、荏原町商店街の皆様及び東京都内の小中学生の皆様から心温まるメッセージカードをいただきました。どちらもカードには１枚１枚手書きで激励のメッセージや医師・看護師が働く姿のイラストが描かれており、そのお心遣いが現場で働く職員の大変な励みとなります。

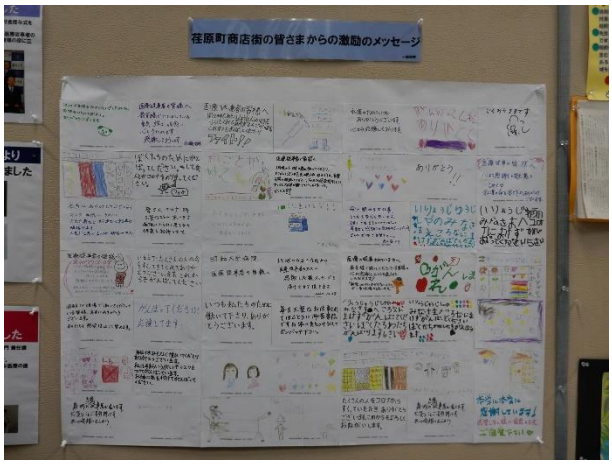
職員一同心より感謝し、お心遣いに対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
今後も日々新型コロナウイルス感染症の治療に取り組み、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。



荏原町商店街の皆様より

東京都内小中学生の皆様より

誠にありがとうございます！



院内ご支援紹介スペースにて一部を展示しております。
ご来院の際にはぜひご覧ください。

お知らせ　近隣住民の方より横断幕による激励のメッセージをいただきました

近隣にお住まいの方により、医療従事者へ向けた横断幕が掲げられ、心温まるメッセージをお送りいただきました。

この横断幕は当院内からも確認することが出来る程大きなものであり、近隣住民の方々の心遣いが、目に見える形として我々病院職員の大変な励みとなっております。この場をお借りして、職員一同厚く御礼申し上げます。

当院からの様子

羽ばたけ期待の医療人　No.28　「臨床検査技師」

今月は「　１年目　臨床検査技師　」の眞船　将太（まふね　しょうた）さんをご紹介いたします。

臨床検査技師を志した理由はなんですか？

兄が医療職を目指していたことから、自分も医療職に興味を持ちました。そして、父が入院した際に臨床検査技師と接する機会があり、いろいろ調べたことがきっかけでした。

医師とは違い、患者さんを直接治療することはありませんが、病気の診断の為に様々な検査を行うことで治療の大切な基盤になるところに魅力を感じました。

現在、どのような業務をしていますか？

輸血センターに所属しており、主に血液型や不規則抗体の検査、交差適合試験を行っています。これらの検査によって患者さんに使用する輸血製剤が決まるため、正確かつ迅速な検査が求められます。さらに、日赤輸血製剤の発注・管理・供給などを行い治療のサポートをしています。

今後、どのような臨床検査技師を目指しますか？

医師が病気を正しく診断し、適切な治療方法を決めるためには、臨床検査の結果がとても重要です。臨床検査技師の業務は、病気の早期診断や治療に直結していることを忘れず日々努力していきたいと思います。

まだ知識も技術も未熟で、先輩方に迷惑をかけてしまっていますが、先輩方の姿を見て着実に学んでいきたいと思います。

トピックス　サンクス！グッドプラクティスパートナー（第 10 回）

当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、チーム力を高めることで患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

臨床工学技士から看護師へのありがとう！

５階 ICU・CCU　看護師　佐藤さん

５階 ICU・CCU　看護師　佐藤さんへ

コロナ禍で業務が大変な時や、周りが忙しい状況でも、いつも笑顔で仕事をしていて、困っていると声を掛けてくれます。

【患者さんに与えた良い影響】

忙しく、心が折れそうな時でも、佐藤さんの声掛けのおかげで、元気がでて、仕事をスムーズにすすめることができています。

血液浄化センター　坂東さんへ

コロナ対応のために、臨床工学技士の業務が多忙な時に、「私たちに出来ることがあれば言って」と、声を掛けてくれて、普段臨床工学技士が担っている業務を手伝ってくれました。

【患者さんに与えた良い影響】

業務を手伝って頂いたおかげで、仕事を早く終えることができました。
何より心が温まりました。

看護師から管理栄養士へのありがとう！

心不全教室の様子

管理栄養士　日高さんへ

今年度から始まった心不全教室における栄養士からの栄養相談で、患者さんの食に対する思いや価値について共有してくださり、療養生活上のポイントも教えて頂き、患者指導に活かすことができました。

【患者さんに与えた良い影響】

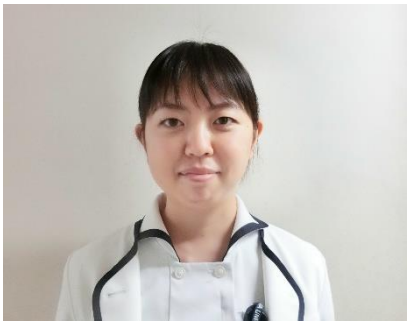
早期より栄養に関する専門家からの話を聞くことができたため、患者さん自らが栄養指導を希望するなど、入院中から生活改善を考えることに繋がっています。

管理栄養士　金木さんへ

食事制限のある中で、患者さんが少しでも楽しみながら、効率よく食事・栄養摂取ができるよう、時に交渉しながら工夫してくれています。

【患者さんに与えた良い影響】

少しでも希望に沿った食事にすることで、楽しみと食事摂取量の増加に繋がっています。



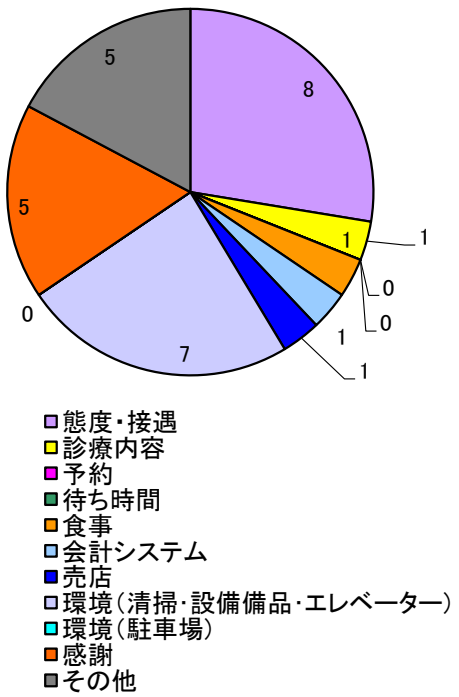
管理栄養士　金木さん

日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。
今後とも、よろしくお願いいたします。

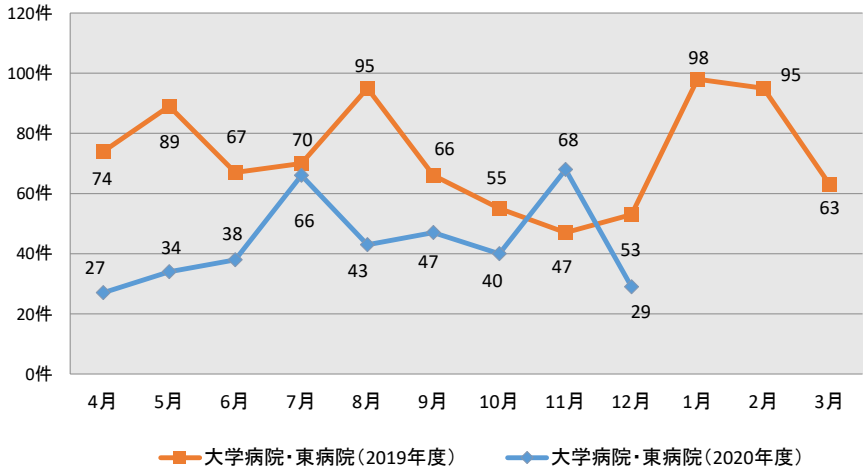
患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
今回、急な手術で入院しました。初めての手術・入院で不安でしたが、先生やナースをはじめ全てのスタッフの方が優しく丁寧に接して下さり、安心して治療を受けることができました。ありがとうございました。	貴重な心温まるご意見ありがとうございます。入院において安心と安楽が提供でき、より良い信頼関係を築けたことに対して喜びを感じます。 スタッフ一同、内容について共有いたしました。今後も患者さん中心に質の高い治療及びケアがチームで提供できるよう努力いたします。	看護部
診断書の受付処理の時間が長すぎます。他の大学病院はもっと待ち時間が短くテキパキやっています。	この度は受付時に大変時間をかけてしまい誠に申し訳ございませんでした。各スタッフの業務習熟度の向上に努めるとともに、混雑時には受付場所を増やしたり、申し込み用紙のフォーマット変更を行うことで受付時間を短縮したりすることを検討しております。 一方で、文書の種類や希望される記載内容は患者さんごとによって多岐にわたっており、内容次第ではお時間を頂く場合がございます。 精一杯尽力しますので、今後は患者さんをお待たせしないよう努力して参ります。	医事外来課

2021年2月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
29件



2019年度・2020年度ご意見・ご要望の推移



お知らせ　医師の配属・異動・退職について

新規配属

【附属施設から】2021 年２月１日付

●小児科　横山ゆきえ（横浜市北部病院から）

●小児科　高見堂正太郎（横浜市北部病院から）

●呼吸器・アレルギー内科　駒形明紀（藤が丘病院から）

●リウマチ・膠原病内科　石井優紀（藤が丘病院から）

異動

【附属施設へ】2021 年２月１日付

●小児科　富永瑛里子（横浜市北部病院へ）　●小児科　小野貴広（江東豊洲病院へ）

退職

【2020 年１２月末付】●麻酔科　大木紗弥香

【2021 年１月５日付】●整形外科　津金雄太

編集後記　病理検査室　渡邊（わたなべ）　聡（さとし）　技師

暦の上では春とはいえ、まだまだ寒い日が続きます。暖かい春の訪れが待ち遠しい季節となりました。

ホームセンターでは、一人用の土鍋が並んでいるそうです。今年は大鍋をみんなでつついて食べるスタイルではなく、一人ひとりで個別に好きな味やアレンジで自分が一番食べたい味を堪能できる小鍋を楽しんでみてはいかがですか。

新型コロナウイルス感染症との闘いは続いています。密を避け、マスクを着用し、手洗いうがいをしっかりとして感染拡大防止を心がけましょう。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆様が読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員：　稲垣 克記、入山 洸希、大江 克憲、岡崎 靖子、五藤 哲、佐々木 仁美、嶋村 弘史、鷲見 賢司、富田 英、中村 清吾、山岸 昌一、吉田 仁、渡辺 愛理、渡邊 聡、渡邊 裕之（50 音順）